

美しき運命の傷痕 (2005)

L' ENFER
HELL

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス／イタリア／ベルギー／日本

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2006/04/08

公開情報 ビターズ・エンド

【キャッチコピー】

三姉妹と、その母。美しい女たちの心の中には、冷たい炎が燃えている。

【解説】

ポーランドの巨匠クシシュトフ・キエシロフスキの遺稿を「ノー・マンズ・ランド」で鮮烈なデビューを飾った新鋭ダニス・タノヴィッチ監督が映画化。キエシロフスキがダンテの『神曲』に想を得て構想した三部作「天国」「地獄」「煉獄」のうちの「地獄」編に当たる。なお、「天国」編はトム・ティクヴァ監督により「ヘヴン」として2002年に映画化された。ある出来事によって父親を失った三姉妹とその母親がそれぞれに陥る愛を巡る地獄のさまを、緊張感溢れるタッチで繊細かつ情熱的に描く。

22年前に起きた悲劇によって父親を失った三姉妹。それは彼女たちの心に深い傷として残り、いまでは美しく成長した彼女たちがそれぞれに抱える苦悩の遠因ともなっていた。長女のソフィは夫の浮気を疑い、激しい嫉妬が彼女を見境もない行動に駆り立てる。次女のセリーヌは恋人もいない孤独な日々。体の不自由な母の世話を一身に引き受けていた。そして大学生の三女アンヌは、不倫の関係にあった大学教授から突然の別れを告げられてしまう。そんな彼女たちは、思いもよらぬ形で再び22年前の出来事と向き合うことになるのだった。

【クレジット】

監督	ダニス・タノヴィッチ	Danis Tanovic	
製作	マルク・バシエ	Marc Baschet	
	マリオン・ヘンセル	Marion Hansel	
	チェドミール・コラル	Cedomir Kolar	
	定井勇二		
	ロザンナ・セレーニ	Rosanna Seregni	
原案	クシシュトフ・キエシロフスキー	Krzysztof Kieslowski	
	クシシュトフ・ピエシエヴィッチ	Krzysztof Piesiewicz	
脚本	クシシュトフ・ピエシエヴィッチ	Krzysztof Piesiewicz	
脚色	ダニス・タノヴィッチ	Danis Tanovic	
撮影	ローラン・ダイヤン	Laurent Dailland	
プロダクションデザイン	アリーヌ・ボネット	Aline Bonetto	
編集	フランチェスカ・カルヴェリ	Francesca Calvelli	
音楽	ダスコ・セグヴィッチ	Dusko Segvic	
出演	エマニュエル・ベアール	Emmanuelle Béart	ソフィ
	カリン・ヴィアール	Karin Viard	セリーヌ
	マリー・ジラン	Marie Gillain	アンヌ

キャロル・ブーケ	Carole Bouquet	母
ジャック・ペラン	Jacques Perrin	フレデリック
ジャック・ガンブラン	Jacques Gamblin	ピエール
ジャン・ロシュフォール	Jean Rochefort	ルイ
ミキ・マノイロヴィッチ	Miki Manojlovic	父
ギヨーム・カネ	Guillaume Canet	セバスチャン
マリアム・ダボ	Maryam D'Abo	ジュリー
ガエル・ボナ	Gaelle Bona	ジョセフィーヌ
ドミニク・レイモン	Dominique Reymond	ミシェル